

別紙様式（第8条関係）

鹿屋市議会議員

花牟礼 薫

様

鹿屋市議会議員

泊 義秋

印

令和7年 3 月 19 日

令和6年度鹿屋市議会政務活動費収支報告書

鹿屋市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定に基づき、下記のとおり関係書類を添えて報告します。

1 収入

政務活動費

240,000 円

2 支出

59,450 円

（単位：円）

項目	金額	備考
調 査 研 究 費	57,450	視察研究費 1月27日～1月29日(3日間)の研究費用 ①和歌山県 田辺市役所 ②奈良県 大磯町役所
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費	2,000	鹿屋市農業教育振興会会費
資 料 作 成 費		新
資 料 購 入 費		
人 件 費		
事 務 所 費		
計	59,450	

※ 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること

3 残額 180,550 円

項目	合計
調査研究費	57,450円

別紙No()

月	日	品名	金額	支払先	領収書 番号
1	24	研修旅費	47,450	(有)旅くらぶ	①
1	27	宿泊費	7,500	ホテル紀伊田辺	②
1	29	空港駐車料金	2,500	鹿児島空港ビルディング(株)	③
計			57,450		

調査研究費

領収書等貼付台紙

領 収 証

泊 義秋 様

№. 2025年1月24日

金 額

¥47,450

上記の金額正に領収いたしました

但し 1/27-1/29 研修旅費

取 入
印 紙

登録番号 T 7340002025830

有限 旅くらぶ21

代表取締役 池田美知子

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市

サム

TEL(0994)

FAX(0994)

領 収 書

NO. 25159

お名前(Name)

鹿屋市議会議員 泊 義秋

様

ホテル紀伊田
HOTEL KII TANA

〒646-0028 和歌山県田辺市高城2丁目7番
TEL:0739-26-7000 FAX:0739-26-7

消費税額(10%):¥681-

消費税額(8%):¥0-

¥ 7,500-

株式会社田辺土地開発:T9170001016689

発行日
Issue

2025/01/27

収入
印紙

鹿児島空港駐車場

鹿児島県霧島市溝辺町麓822番地

TEL 0995-58-5050

領 収 書

入車日時 2025年01月27日 07時41分
出車日時 2025年01月29日 17時14分

駐車料金(普通車) 2500円

料金計 2,500円

投入現金 3,000円

釣銭額 500円

全て消費税1.0%適用対象

登録番号:T5340001007740

鹿児島空港ビルディング株式会社

調査研究報告書

1、調査実施日

令和6年1月27日(月)～1月28日(火) 期間：2日間

2、視察研修出席議員 (5名)

○政研クラブ

○政進クラブ

○会派黎明

会派長 泊 義秋 ・田辺 水哉

会派長 東 秀哉 ・中馬 美樹郎

梶原 正憲

3、調査場所・調査事項

(1) 和歌山県 田辺市

研修内容 「デジタルツインプロジェクトシミュレーション自動実行システムの構築について
(防災分野)」について

その1、デジタルツインプロジェクトとはどのようなものでしょうか。

その2、デジタルツインプロジェクトシミュレーション自動実行システム構築によって期待できる効果

その3、被災状況の迅速且つ正確な調査の他、どのような分野で活用できますか。

その4、システムの取り扱いにあたっては特殊な専門技術が必要ですか。

4、調査報告

【事業の概要】は以下のとおり

開始時期：田辺市では、令和4年度より「田辺市デジタルツインプロジェクト」(DTP)を始動します。

内容：災害現場や事故現場、市有施設や橋梁・道路といったインフラ、熊野古道をはじめとした観光資源や景観資源といった地域資源、文化資源などを、コンピュータ上に3Dモデルを再現して、「防災シミュレーション」・「適切なメンテナンス」・「資源の保全」・「各種建設事業のシミュレーション」など、多様なジャンルの行政に活用していくことで、より少ない人員・コスト・時間で、効率的な行政運営を行って参ります。

：デジタルツインは、ドローンやLiDAR(ライダー)、360度カメラといった様々なデジタル技術を活用し、コンピュータ上に構築されます。

【取組状況】

防災DXにより、迅速な情報収集を行い、その後の災害対応のスピードを上げていきます。

【事業の成果】

災害の「見える化」により、適切な避難計画・避難行動が可能に！

【今後の課題】

—内的課題—

- ・プロジェクト3年目で、かなり広い業務範囲で使えることが浸透してきましたが、まだ職員の意識にバラツキがあり、心理的ハードルから、まだ活用があまり進んでいないジャンル・部署があります。
- ・カバー領域が広いので、今後はデジタルツインプロジェクトの人的補強が必要となります。

—外的課題—

- ・議会やマスコミでも一定取り上げられており、各種イベントなどで、デジタルツイン体験会などを開催していますが、まだまだ市民の中に浸透していないため、広報に力を入れる必要があります。
- ・建設業界、農林水産業界、自治会など、外部団体との協業を更に推し進める必要があります。

【まとめ】

「見える化」+「測れる化」を図ることで、迅速化・安全化・低コスト化・正確化に繋げる事業であるとしている。

添付資料：研修内容資料(田辺市デジタルツインプロジェクト)

調 査 研 究 報 告 書 天理市①

1、調査実施日

令和 6 年 1 月 27 日 (月) ~ 1 月 28 日 (火) 期間：2日間

2、視察研修出席議員 (6 名)

○政研クラブ

会派長 泊 義秋 ・ 田辺 水哉

○政進クラブ

会派長 東 秀哉 ・ 中馬 美樹郎 ・ 原田 靖

○会派黎明

梶原 正憲

3、調査場所・調査事項

調査場所：奈良県 天理市

研修内容：天理市の子育て応援・相談センターの取組について

- ・ほっとステーションとはどんな事を行っていますか。
- ・先生方はどんなかわり方をされていますか。
- ・保護者からの相談内容は主にどんなことがありますか。
- ・学校、先生、保護者又、ステーションで勤務されておられる方からの評価等を教えて下さい。

4、調査報告

【天理市のプロフィール】

1954年（昭和29年）山辺郡丹波市町と二階堂、朝和、福住の3村、添上郡樺本町、磯城郡柳本町が合併して市制施行、天理教教会本部の所在地として、全国初の宗教団体名を冠した天理市が誕生しました。

市域は、大和高原（笠置山地）の西端、春日断層崖下の丘陵地と、市街地中央部を西に流れる布留川扇状地、奈良盆地東端の平坦地を占めています。

JR桜井線、近畿日本鉄道天理線、国道24号、25号、169号、名阪国道、西名阪自動車道の通じる交通の要地であり、中心の丹波市は布留川扇状地末端部に位置しています。

【取組状況】

「ほっとステーション」設置に向けて天理市総合計画審議会委員からの意見・提案及びその対応について
分野：地域の資源や人材を活用し、一人ひとりの豊かな未来を育む「教育」の充実

政策・施策名：青少年・生涯学習

意見・提案：子育て応援・相談支援センター「ほっとステーション」を作られたことは、素晴らしいと考える。

学校問題の解決のため充実させていただきたい。

担当課：まなび推進課

対応：4月から100件を超えるお問い合わせをいただき、学校と連携して問題解決にあたっています。

児童生徒にとって、生きづらさが解消されるような学校づくりを目指します。

→ （新規）2-1 就学前・学校教育、▲戦略3-2-2 魅力的な教育環境を構築する。

調査研究報告書 天理市②

【取組状況】

《ほっとステーションQ&A》

Q: どうして専用窓口ができたの?

A: 今、教育・保育現場では解決できない複雑化した課題を抱えこみ疲弊しています。

先生方が疲れ果ててしまうと、全ての児童生徒の学びや保育等に悪影響が出ます。また、保護者の皆さまのご不安やご相談に対しても寄り添って対応する余裕がなくなってしまうます。

これからは現場の先生ではなく、「ほっとステーション」へ直接相談してください。

Q: もう学校等へは連絡したらいけないの?

A: ご意見やご要望といった内容の場合は、学校では直接対応いたしません。ただ、日常の連絡等は今まで通りご連絡していただいて大丈夫です。

Q: どんな事が相談できるの?

A: 例えば、学校でのトラブル、先生方や学校へのご意見・ご要望、子どもの学びや育ち、子育てに悩んでいる、などのご相談にのらせていただきます。

Q: どんな人が相談にのってくれるの?

A: 校長や園所長の経験者、心理士（師）、相談員などの経験豊富なスタッフが常駐しております。

Q: 相談方法は?

A: 電話相談、メール相談、来所相談、からご都合の良い方法を選んでいただけます。

Q: 誰でも相談できるの?

A: お子さまが、天理市立の小学校・中学校・幼稚園・こども園・保育所・学童保育所へ通っておられる方専用の相談窓口です。

【今後の課題】

教育や地域交流に欠かせない教育関連施設の活用方法を考察し、学校教育と地域社会の融合を図ることで、学校が地域の絆づくりと支え合いの場となり、地域社会において多世代が学び交流できる拠点となる取組みを進めていくことが課題であるとしている。

【まとめ】

本市はこれからも様々な取組みを進めていきますが、まちづくりは、これらの重要施策と密接に関わるものになります。本市の将来の展望を慎重に見据えながら、子育て世代に着目した天理市立地適正化計画を踏まえた都市機能の集積や、低未利用地の活用、既存施設の有効活用、市街化調整区域の土地利用、地域コミュニティの維持、土地利用に関する調査結果等にも配慮し、様々な関連計画と連携しながらまちづくりを進めていくことが必要としている。

項目	合計
会議費	2,000円

別紙No ()

月	日	品名	金額	支払先	領収書 番号
9	19	鹿児島県農業教育振興会会費	2,000	鹿児島県農業教育振興 会	①
計			2,000		

会議費

領収書等貼付台紙

①

領 収 書

No. 11
令和 6 年 9 月 9 日

鹿屋市議会議員

沼 義 秋 様

¥ 2,000 円

但し、鹿児島県農業教育新興会会費として
上記正に領収致しました

鹿児島県農業教育新興会

